

むすぶ ～多様な“むすび”により君津の未来を創る～

KIMITSU

君津市総合計画 令和4(2022)⇒令和12(2030)年度

概要版

ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ



基本構想

将来ビジョン 将来都市像

ひとが輝き



人口フレーム 令和12(2030)年の人口フレーム

行動姿勢 **むすぶ** ~多様な

昭和45(1970)年に、君津町、小糸町、清和村、小櫃村及び上総町が合併し、その翌年の昭和46その後、昭和、平成、そして令和といくつもの時代を歩み、この50年、君津は発展してきました。この君津を次の世代へつなぐため、「共感でつながる緩いむすび」、「受け継がれてきた固いむすび」、を輝かせ、君津の未来を創っていきます。本市に関わる全ての方が「むすぶ~多様な「むすび」により君津の未来を創る~」を行動のよりどころに

将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿

- 柱1 関連する分野 **経済、環境**
経済と環境が調和したまち
- 柱2 関連する分野 **健康、福祉**
誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち
- 柱3 関連する分野 **子育て、教育、文化**
安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち
- 柱4 関連する分野 **安全安心、都市基盤**
快適で安心して暮らせるまち
- 柱5 関連する分野 **パートナーシップ、人権、行財政**
ともに創る次世代につながるまち



幸せつなぐ きみつ



77,000人

“むすび”により君津の未来を創る~

(1971)年には市制を施行して、県内25番目の市となる君津市が誕生しました。

「時代の変化に対応した新しいむすび」等、多様なむすびを更に強めることにより、「ひと」、「まち」、「しごと」

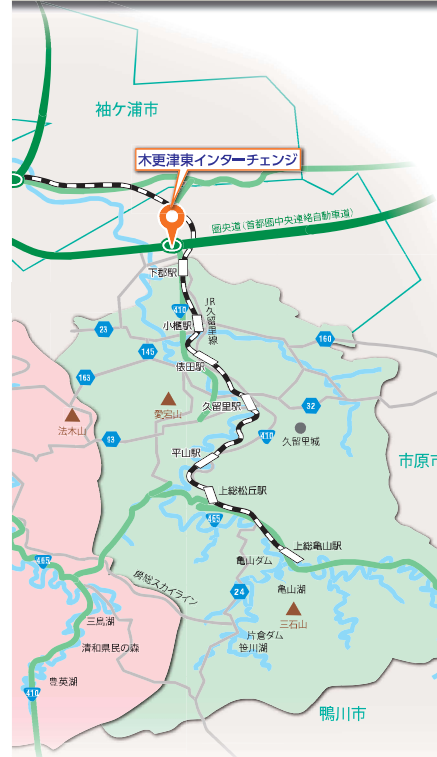
し、次の時代に向けた最初の一步を踏み出します。

コンセプト

本市の強みとは、多種多様なむすびです。
市街地と山間部それぞれの場所に住む人同士のむすび
小櫃川流域と小糸川流域の市内地域間のむすび
アクアラインを通じた君津と都心とのむすび
鉄のまちとしての歩みを背景とした過去と現在のむすび
これらのむすびを更に強化しつつ、情報・科学技術の進展を活用したむすびの再構築を行いながら、「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」を目指します。

市内共通の方向

- 地区の特性を生かした雇用の場の創出
- 地区の連携を深める幹線道路の整備促進
- 交通モードの充実、自動運転バスをはじめとする先端技術の導入検討
- 多様性に配慮したユニバーサルデザイン・バリアフリーの促進
- 多様なライフスタイルを支援する空き家を利用した移住や二地域居住の推進
- 市有地や空き公共施設の積極的な活用
- 砂利採取場跡地の活用
- 自然環境と調和した再生可能エネルギーの様々な活用
- 多様な担い手を支援し、地域資源を活用する農林業の振興
- 人と自然がふれあう里山の保全・整備・利用の促進
- 名物や特産品を生かした魅力づくり
- 地産地消と食育等の推進による地域農業・農産物への理解促進
- 有害鳥獣対策の促進による暮らしやすい環境づくり
- 地域に密着した消防団と自主防災組織による地域防災力の向上

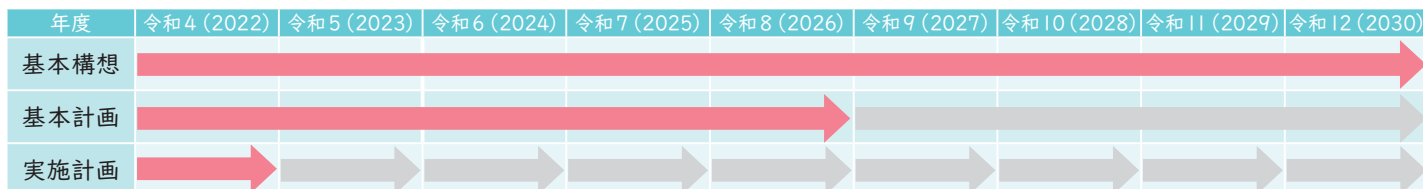


計画の体系

計画の構成

区分	計画期間	内容
基本構想	令和4～12年度【9年】	将来ビジョン、行動姿勢、将来ビジョン実現するための柱と将来の姿、将来デザイン
基本計画	令和4～8年度【前期5年】 令和9～12年度【後期4年】	将来ビジョンを実現するための柱ごとの施策、戦略的プロジェクト、拠点づくり、財政見直し
実施計画	単年度ごと	毎年度の予算編成、行政評価と連動した事業計画

計画の期間



計画の位置づけ

1 オール君津でまちづくりを行うための行動指針

本市がより良いまちとなっていくためには、行政のみならず、市民や事業者など本市に関わる人がまちに愛着をもち、まちづくりを自分ごととして捉え、同じ方向に向かって歩んでいくことが必要です。本計画は、目指すべき方向や実現するための手段を共有する行動指針としての役割もっています。

2 まちづくりにおける最上位計画

本計画は、将来ビジョンの実現に向けた取組の方向性を示す、まちづくりにおける最上位の計画として位置づけられます。

3 「まち・ひと・しごと創生」総合戦略との一体化

本市ではこれまで、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を維持していくための具体的な行動計画として第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略【令和2(2020)年3月策定、令和3(2021)年3月改訂】を推進してきました。

本計画においても本市が直面する人口減少の克服に向けて重点的・優先的に取り組む必要があることから、本計画と総合戦略を一体化し総合的かつ効率的に推進していきます。

4 国土強靱化地域計画との一体的推進

国土強靱化地域計画は、大規模自然災害に対する防災・減災の取組を体系的に定めたもので、国土強靱化における市の様々な分野の計画・取組の指針となるものです。

このため、まちづくりの方向性を示す本計画においても、国土強靱化地域計画との整合を図ったうえで、両計画を一体的に推進する必要があります。

このため本計画では、君津市国土強靱化地域計画が掲げる「リスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)」の対応方策を、「将来ビジョンを実現するための柱ごとの施策」と関連づけて示します。

SDGsの推進

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、経済・社会・環境の3つのバランスが取れた社会を目指すための国際目標であり、平成27年(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられているものです。

このSDGsは、全ての国々、人々を対象としており、令和12(2030)年までに持続可能な世界を実現するための17のゴール(取組分野別の大きな方向性を示したもの)と169のターゲット(より詳細な取組の方向性を示したもの)で構成されます。

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、全ての人々がSDGsを理解し、それぞれの立場で主体的に行動することが求められています。本計画においても経済・社会・環境のバランスの取れたまちづくりを考えるなど、SDGsの視点を踏まえた計画とし、17のゴール全てに対応しています。本計画に基づく施策を推進することでSDGsの目標達成に貢献していきます。



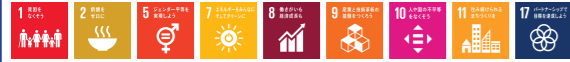
柱1

関連する分野 経済、環境

経済と環境が調和したまち

1 商工業振興

- 持続的な経済発展の実現
- メイドインきみつの全国展開
- 地域を支える事業者の経営力強化
- 働きやすい環境づくり
- 企業誘致の推進



2 農林業振興

- 多様な担い手が活躍できる環境の整備
- 安定した農業経営の確立
- 農業体験、食育等による都市農村交流の促進
- 森林整備の促進



3 環境共生

- 脱炭素社会の推進
- 生活環境と自然環境の保全
- ごみの減量化・再資源化の推進
- 有害鳥獣を引き寄せない環境づくり
- 家庭用省エネ・再エネ設備等の導入促進



4 観光振興

- 観光資源の磨き上げ
- 観光情報発信の強化



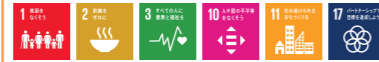
柱2

関連する分野 健康、福祉

誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち

1 地域福祉

- 地域で共に支え合える環境づくり
- 生活に困っている方への支援の推進
- 誰もが安心して暮らせる住環境の整備



2 高齢者福祉

- 高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり
- 介護が必要な方を支える介護基盤の整備促進



3 障害者福祉

- 障害福祉サービス提供体制の充実
- 障害のある方の就労支援の充実
- 障害のある方の相談支援体制の強化
- 障害のある方が自分らしく暮らせる環境づくり



4 保健・医療

- 健康診査や疾病予防の推進
- 運動習慣の定着とフレイル予防の推進
- 健康づくりの推進
- 感染症対策の推進
- 地域医療体制の充実



5 スポーツ推進

- スポーツ・レクリエーション活動の推進
- スポーツ観戦等を通じた個性を生かせる機会の創出
- スポーツ環境の整備
- スポーツを通じた交流による地域づくり



柱3

関連する分野 子育て、教育、文化

安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち

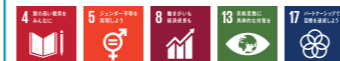
1 子育て

- 妊娠・出産・子育て期にわたる支援体制の充実
- 保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
- 子育て家庭への支援体制の充実
- 結婚を希望する方への支援の推進



2 学校教育

- 子育てできる環境づくり
- 生きる力を育む学校教育の推進
- 新しい時代に必要な資質・能力の育成
- 脱炭素社会の実現に向けた環境教育の推進
- より良い学校環境の整備



3 生涯学習

- 身近な場所で学び続けられる環境の整備
- 子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実
- 自主的に学び続けられる読書環境の整備



4 文化・芸術振興

- 多彩な文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくり
- 文化・芸術に係る環境の整備
- 地域の伝統文化を次世代につなげる環境づくり



5 多文化共生

- 国際交流の推進
- あらゆる国々の人にとって住みやすいまちづくり



柱4

関連する分野 安全安心、都市基盤

快適で安心して暮らせるまち

1 防災・減災

- 地域が一体となった防災対策の推進
- 災害に備えた環境の整備
- 水害を防ぐ河川環境の整備
- 平常時から始める減災対策
- 災害からの迅速な復旧復興



2 道路

- 安全で快適な道路環境の実現
- 道路インフラの計画的なメンテナンスの実施
- 幹線道路の整備促進



3 上下水道

- 水道水の安定的な供給
- 公共下水道の整備・普及



4 消防・救急

- 市民の安全安心につながる消防・救急体制の充実
- 消防の強靱化
- 火災予防の推進



5 防犯・消費生活・交通安全

- 犯罪を未然に防ぐ体制の整備
- 安全安心の消費生活の実現
- 交通安全対策の推進



6 移動

- 鉄道及び民間路線バスの利用促進
- コミュニティバス及びデマンドタクシーの最適化
- 高齢者等への移動支援
- バリアフリー化の推進
- 自動運転技術の活用に向けた研究



7 都市創造・住まい

- 市街地の都市機能の充実
- 良質な住宅の普及促進
- 空き家対策の推進
- 公園のリニューアルを始めとした都市空間の新たな魅力づくり



柱5

関連する分野 パートナーシップ、人権、行財政

ともに創る次世代につながるまち

1 パートナーシップ

- 市民と共につくるまちづくり
- 企業等との連携によるまちづくり
- 広域連携によるまちづくり



2 地域コミュニティ

- 地域コミュニティの活性化
- 新たな地域拠点づくり



3 人権・男女共同参画

- 多様な人権を尊重するまちづくり
- ジェンダー平等の推進
- 女性が活躍する社会の実現に向けた環境づくり



4 公共施設マネジメント

- 公共施設再整備の推進
- 空き公共施設等の利活用の推進



5 シティプロモーション

- 市民に向けた情報発信による君津市への愛着や誇りの醸成
- 市外に向けた情報発信による関係人口の創出・拡大
- 地方移住・二地域居住の推進



6 行財政マネジメント

- 次世代につながる効果的な行財政運営
- 人材育成の推進と組織の活性化
- 開かれた市政の推進
- デジタル化による住民サービスの向上及び行政経営の効率化



戦略的プロジェクト

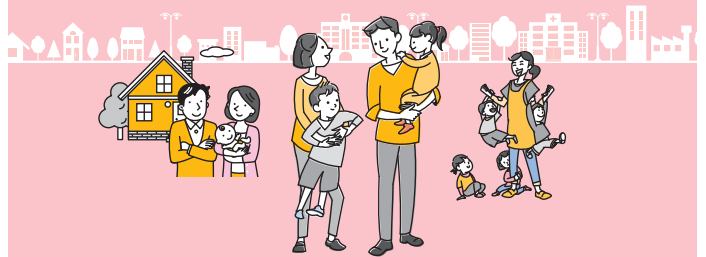
戦略的プロジェクトは、将来ビジョンの実現を加速させるために、テーマごとに関連する「将来ビジョンを実現するための柱ごとの施策」をパッケージ化し、戦略的に取り組むものです。

A 安心して働ける環境をつくる



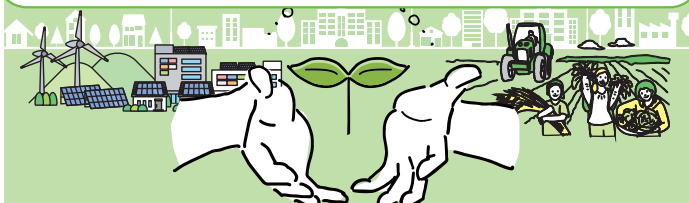
- 企業誘致・創業支援の推進
- グリーン・デジタル化に関する支援
- 多彩な人材の活躍支援

B 子育て世代が住みやすいまちをつくる



- 子育て世代が住みやすい住環境整備
- 保育の受け皿整備などの子育て支援の推進
- 妊娠・出産・子育てなどにおける支援体制と教育施策の充実

C 環境グリーン都市をつくる



- 水と緑の保全、森林の整備
- 環境に配慮した企業の立地、企業の脱炭素に向けた設備等の更新・導入等
- 公共施設の新築・改修時の省エネルギー性能向上、再生可能エネルギーを活用したエネルギー効率の高い建築物の普及
- 省エネルギー家電の利用、エコドライブ、ごみの4R推進
- 電動車等への転換、ICTを活用した公共交通機関の最適化

D デジタル技術を活用して新たな価値をつくる



- ゆとりと安心のある暮らしに向けた変革（暮らしの変革）
- 人材育成の推進や教育面における変革（知の変革）
- 地域の活性化に向けた産業の変革（産業の変革）
- 「誰一人取り残さない」デジタル化の取組

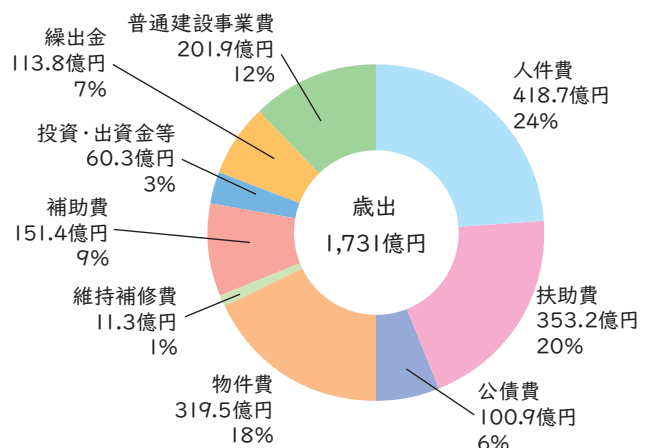
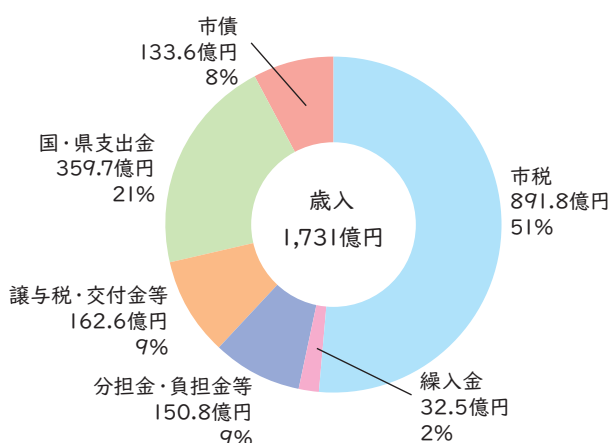
財政見通し

歳入は、経済の緩やかな回復からコロナ以前の状況まで持ち直し、市税収入や各種譲与税・交付金を概ね横ばいで推移していくものと見込みます。国・県支出金や市債については、歳出事業に連動して推計しておりますが、特に市債については、老朽化する公共施設の集約化や長寿命化、インフラの長寿命化など、予定する大規模な投資事業が山積していることから、計画的で堅実な起債が求められます。

一方歳出では、社会保障関連経費の増加や老朽化の進む公共施設・インフラなどの維持管理経費の増加など経常経費の増加に加えて、学校、保育園、公民館などの施設整備、広域による火葬場や廃棄物処理施設の整備など大規模な投資事業も予定されており、多額の財政負担が想定されます。

歳出削減のための経営改革に引き続き取り組むとともに、財政調整基金を適正な水準で維持し、持続可能な財政運営を図り、総合計画の実効性を確保していきます。

一般会計歳入歳出見通し（令和4年度～令和8年度）



拠点づくり

君津地区 [1] 君津駅周辺

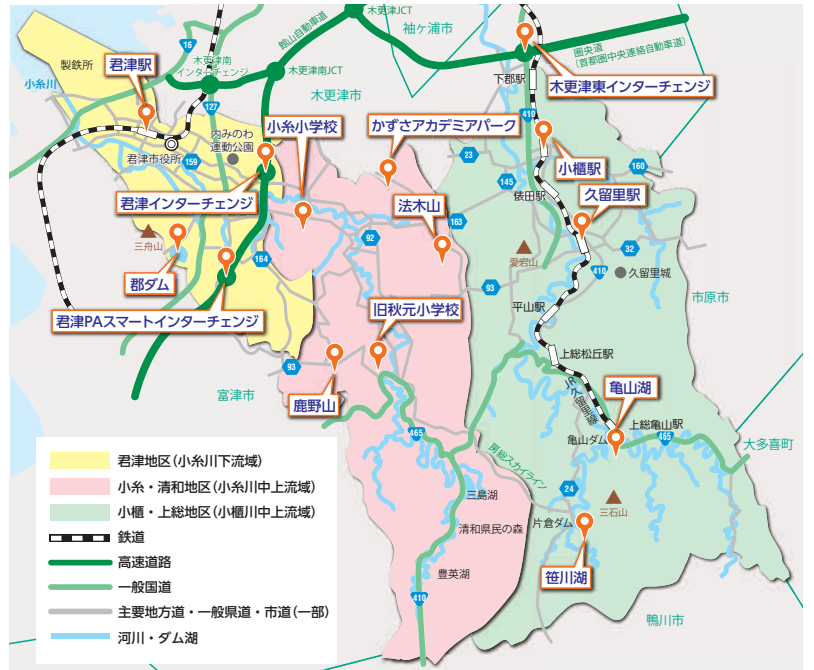
- 商工業振興 ▶ 持続的な経済発展の実現
▶ 働きやすい環境づくり
- 子育て ▶ 保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
- 移動 ▶ 鉄道及び民間路線バスの利用促進
- 都市創造・住まい ▶ 市街地の都市機能の充実
▶ 良質な住宅の普及促進
▶ 空き家対策の推進
- 公共施設マネジメント ▶ 公共施設再整備の推進

君津地区 [2] 君津インターチェンジ周辺

- 商工業振興 ▶ 企業誘致の推進
- 農林業振興 ▶ 農業体験、食育等による都市農村交流の促進
- 観光振興 ▶ 観光資源の磨き上げ
- 都市創造・住まい ▶ 市街地の都市機能の充実
▶ 公園のリニューアルを始めとした都市空間の新たな魅力づくり
- 地域コミュニティ ▶ 新たな地域拠点づくり
- 公共施設マネジメント ▶ 公共施設再整備の推進

小糸・清和地区

- 商工業振興 ▶ 企業誘致の推進
- 農林業振興 ▶ 多様な担い手が活躍できる環境の整備
▶ 安定した農業経営の確立
▶ 農業体験、食育等による都市農村交流の促進
- 観光振興 ▶ 観光資源の磨き上げ
▶ 観光情報発信の強化
- 地域コミュニティ ▶ 新たな地域拠点づくり
- 公共施設マネジメント ▶ 公共施設再整備の推進



小櫃・上総地区

- 商工業振興 ▶ メイドインきみつの全国展開 ▶ 企業誘致の推進
- 農林業振興 ▶ 多様な担い手が活躍できる環境の整備
▶ 安定した農業経営の確立
▶ 農業体験、食育等による都市農村交流の促進
▶ 森林整備の促進
- 観光振興 ▶ 観光資源の磨き上げ ▶ 観光情報発信の強化
- 移動 ▶ 鉄道及び民間路線バスの利用促進
▶ コミュニティバス及びデマンドタクシーの最適化
- 地域コミュニティ ▶ 新たな地域拠点づくり
- 公共施設マネジメント ▶ 公共施設再整備の推進

地区間連携

新たな核づくりによる都市部の活性化と多様な地区の特色に応じた拠点の形成を図り、多彩な魅力にあふれた多極ネットワーク型のコンパクトでスマートなまちの創出に取り組みます。



広域連携



- 君津圏域
幹線道路の整備等が本市にもたらす人やモノの流れを確実に取り込み、かずさ地域はもとより南房総の玄関口として、周辺自治体との広域連携を含んだ活力あるまちの創出に取り組みます。
- 全国
本市は、広域連携の取組として、周辺自治体との連携に留まらず、災害時の協力や歴史・文化的なつながりなどをきっかけに、全国各地の自治体とも交流を深めてきました。これまでのおすびを更に深めるとともに、全国各地の自治体との連携を推進し、共通する行政課題の解決に取り組めます。

